



狼と羊と白菜

硯 山

むかしある所に一人の御百姓が市場に狼と羊と白菜とをもつてゆかうと思ひました、ところが途中で一つの細い橋のかゝつてゐる川に参りましたところがこの橋はあまり細いので一度に狼と羊と白菜をもつて渡る事が出来ませんどうしても狼なら狼羊なら羊と一つづゝもつて渡らなければなりません、けれども困つた事には狼をつれて橋を渡るとその留守に羊が白菜を皆食べてしまいますと云つて白菜を持つて渡ろうとすると狼か羊をたべてしまいますと云つてはじめ羊をもつて渡り次に狼をつれてゆけばもう狼を置いて白菜をとりに歸る事が出来ません

いろ／＼と考へた末にこの御百姓はうまい事をかんがへつきましたそれは第一にやつぱり羊をつれて渡るのです次に狼をつれて渡り歸りがけに復羊をつれてくるのですそしてこんどは羊をゐいて白菜をもつて渡り又ひきかへしてきて羊をつれて渡るのです云ふ仕方御百姓さんは何もいためずに川を渡りました何と伶俐な人ではありませんか